

【実施署：愛知森林管理事務所】

8月19日から8月23日までの5日間、中部森林管理局の愛知森林管理事務所においてインターンシップをさせていただきましたので、ここに報告いたします。

1日目、午前中は愛知森林管理事務所(以下、愛知所と略す)内で、調整官に日程やインターンシップ中の注意事項ほか、また林野庁や中部森林管理局、愛知所それぞれの事業概要そして、愛知県内国有林の特徴についてご説明いただきました。その後、所長と対談。県内の木材流通内訳やフォレスターの詳細、木材利用の歴史的な変遷などについてお話をさせていただきました。午後からは、プレカット工場、複合的事業施設の見学に愛知所内の方々含め計9人で伺いました。双方、工場内を案内していただきました。また、木材ポイント制度や様々な加工方法、製材に関するコストや産業廃棄物のお話をいただき、商品としての木材の理解を深めることができました。

2日目、治山グループの3名に同行。午前中は段戸国有林内における治山事業(谷止工)の監督作業を行いました。レベルを使用し、コンクリート施工部分が規定の高さに準じているかを確認しました。我々インターンシップ学生も、レベル測量をさせていただきました。また、具体的な事業費や強度基準の変化などのお話をさせていただきました。午後からは、施工方法のミニチュアモデルがある治山ガーデンにおいて、コンパス測量を行いました。3ルートに分かれて方位角、高低角、斜距離を測量し、それらをもとに水平距離と高低差算出し、愛知所に戻り図面に落としました。木材市場とは関わらない国土保全について、具体的な施策を感じることができました。

3日目、豊橋国有林内の1林班における間伐選木。主任森林整備官と森林官に同行させていただき、標準地設定によるプロット調査を行いました。そのエリア内でまず間伐木を選び、昼食を挟んでから毎木調査で標尺による胸高直径と、基準高との比較による目測の樹高の測定を行いました。そしてその場で材積を求め、本数との割合で間伐木を選び直しました。森林事務所へ戻り、Excel入力と収量曲線との比較を経て、収量比数の変化の確認を行いました。現場作業と事務作業の両方をこなすことの重要性を実感しました。

4日目は、1日を通して裏谷原生林での自然観察案内の補助講師をいたしました。通常勤務時間より早く愛知所を出発し、詰所で鞆の中身やルートの確認、豊小学校の先生との打ち合わせを行いました。3班に分かれての案内に同行させていただきました。午前中は列の最後尾について案内方法の概要を把握し、午後からは先頭で案内人をさせていただきました。自然の魅力や森林の機能を伝えることの重要性と難しさを再認識しました。

5日目、午前中に段戸国有林内における請負事業地の進行状況確認に同行させていただきました。その際、ハーベスタの稼働を見学しました。また、森林・林業再生の概要やその路網システムや林業機械の導入、補助金についての説明、木材チップによる発電のお話をさせていただきました。午後からは民間の木材集積場を見学し、中間土場や薪の単価、昔の山師のお話などしていただきました。

この5日間で、ほんの一部ですが業務の内容を非常に具体的に理解できました。林野庁

の方々をはじめとし、愛知所の皆さま、ありがとうございました。実務経験を経て感じたことを糧にし、今後も精進してまいります。